

パブリックスペース・デザインガイドライン

- 1 ランドスケープ
- 2 植栽
- **3 サイン**
- 4 光環境
- 5 アート
- 6 ファニチャー
- 7 色彩
- 8 素材

LANDSCAPE
GREEN
SIGN
LIGHTING
ART
FURNITURE
COLORING
MATERIAL

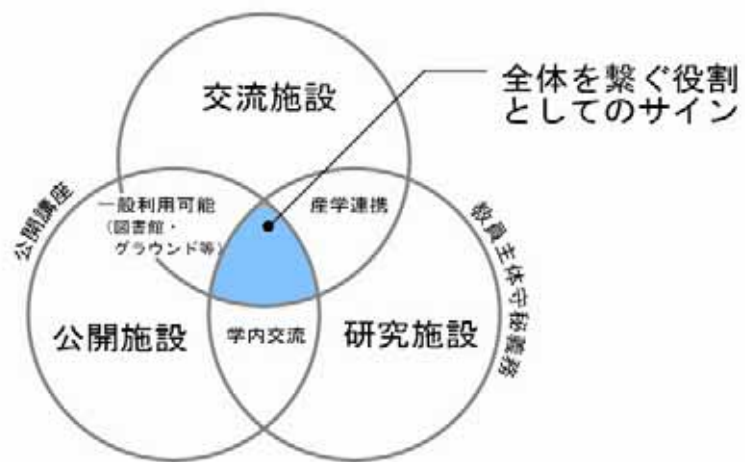
1) サイン計画の目的とターゲット

サイン計画の目的

利用者にわかりやすく、目的地に案内/誘導するサイン本来の機能を持たせた上で、新キャンパスの特性を考慮したいくつかの新しい提案(こだわり)を織り込み、「九大スタイル」として公共空間におけるサイン計画の先進事例となるような新しい提案を目指す。

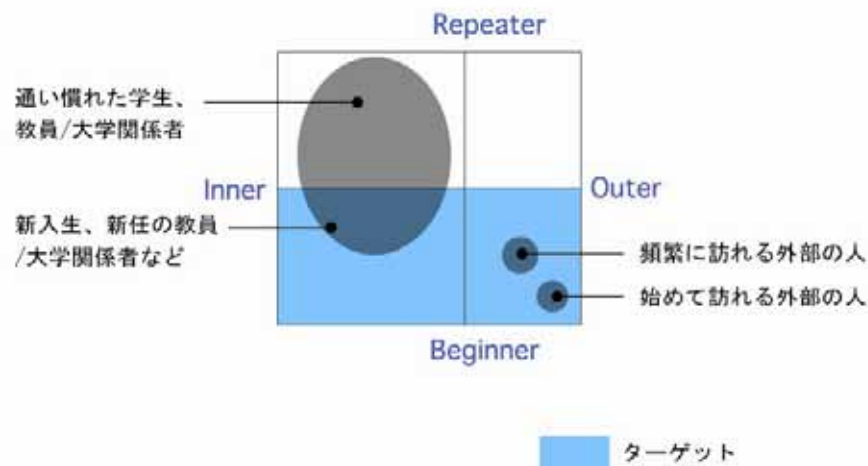
学术交流を促し、社会・地域連携の推進の為、公開を基本とした場の区分、学内空間の理解、モラルのある施設の利用、UI表現の一環等、外部に開かれた大学にふさわしい風格をもったサインを整備する。

大学におけるサインの役割



ターゲットとする利用者像

新キャンパスに関する情報弱者「Beginner」の立場と目線に立った計画とする。またBeginnerを案内/誘導する立場の「Repeater」も間接的な利用者となる。



2) サイン計画のコンセプト

利用者に長年にわたり親しまれるサインとするために、現在位置の分かりやすい案内/誘導サイン、名称の工夫等により親しみのわく記名サイン等を考慮した5つの計画コンセプトを以下に示す。

1. 「情報拠点」への配置

- ・来訪者のアライバルポイントや動線の交差点を中心とした情報拠点への的確な配置
- ・キャンパス・モールへの重点的配置
- ・広域から目的地への系統立った案内・誘導

2. 「現在位置」のわかりやすさ

- ・エリアメッシュによる明確なエリア分け
- ・アドレスポイントによる明確な位置表記
- ・セキュリティーや施設管理への応用

3. 「通り名称」の活用

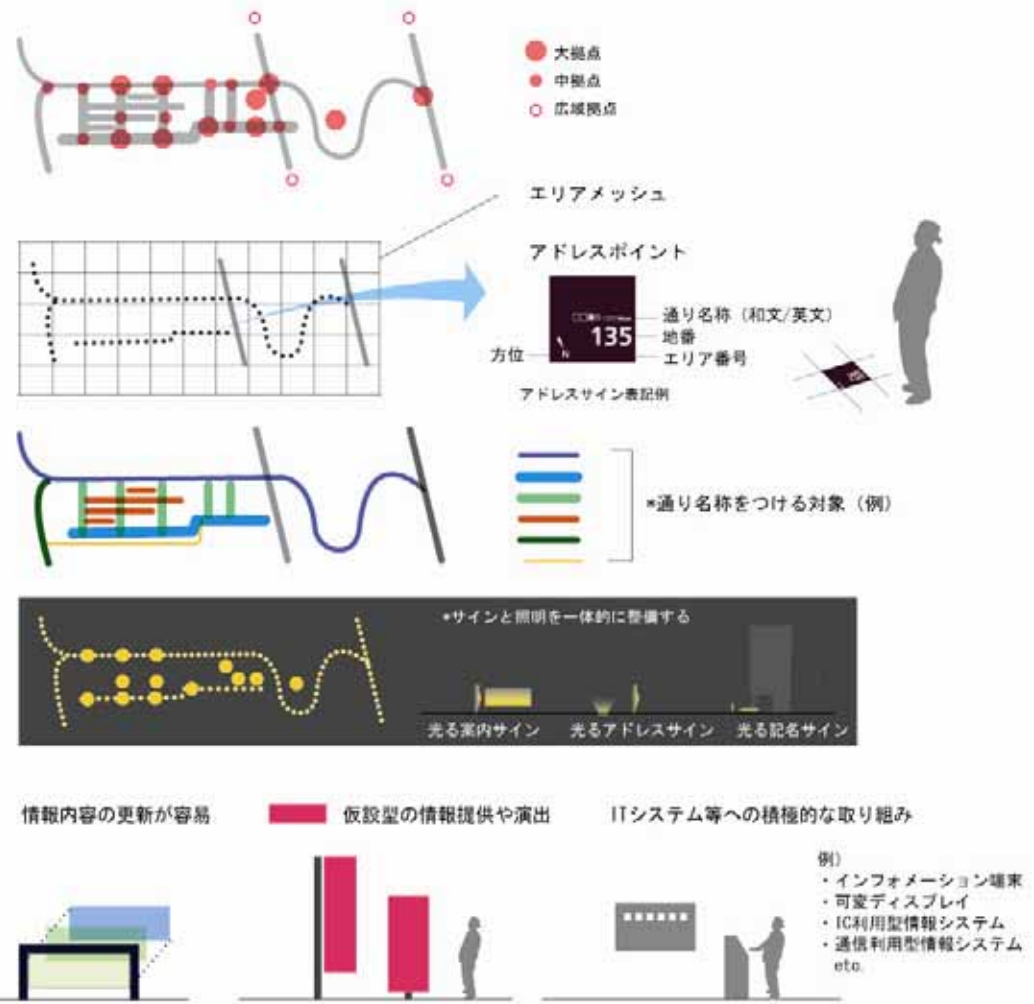
- ・愛称による親しみ易さと伝えやすさ
- ・通りの個性の顕在化

4. 「照明」とサインの一体化整備

- ・サインを照明装置の一部として捉え、照明計画と連携させる
- ・機能の複合化による景観形成やコスト管理上のメリットの活用

5. 「変化」への対応

- ・段階的整備に対応した情報内容の更新のしやすさやコスト管理を考慮した表示板面の構造や仕様
- ・本体の耐用年数を考慮した整備計画
- ・イベントや催しなど、非日常時の情報提供や演出に対応出来る「仮設性」を生かした構造
- ・将来的なITその他の先進的且つ実験的なシステム導入への対応を視野に入れると共に、デザインの統一性や機能の連携について配慮した計画を行う。

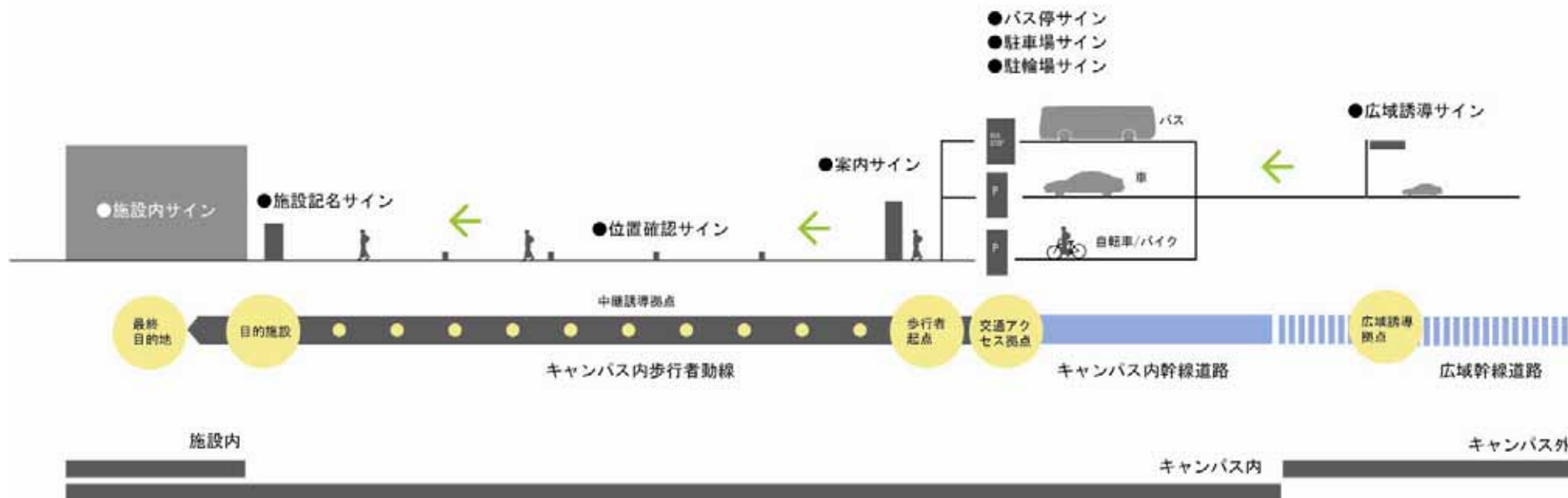


3) 屋外サイン

案内/誘導の基本フロー

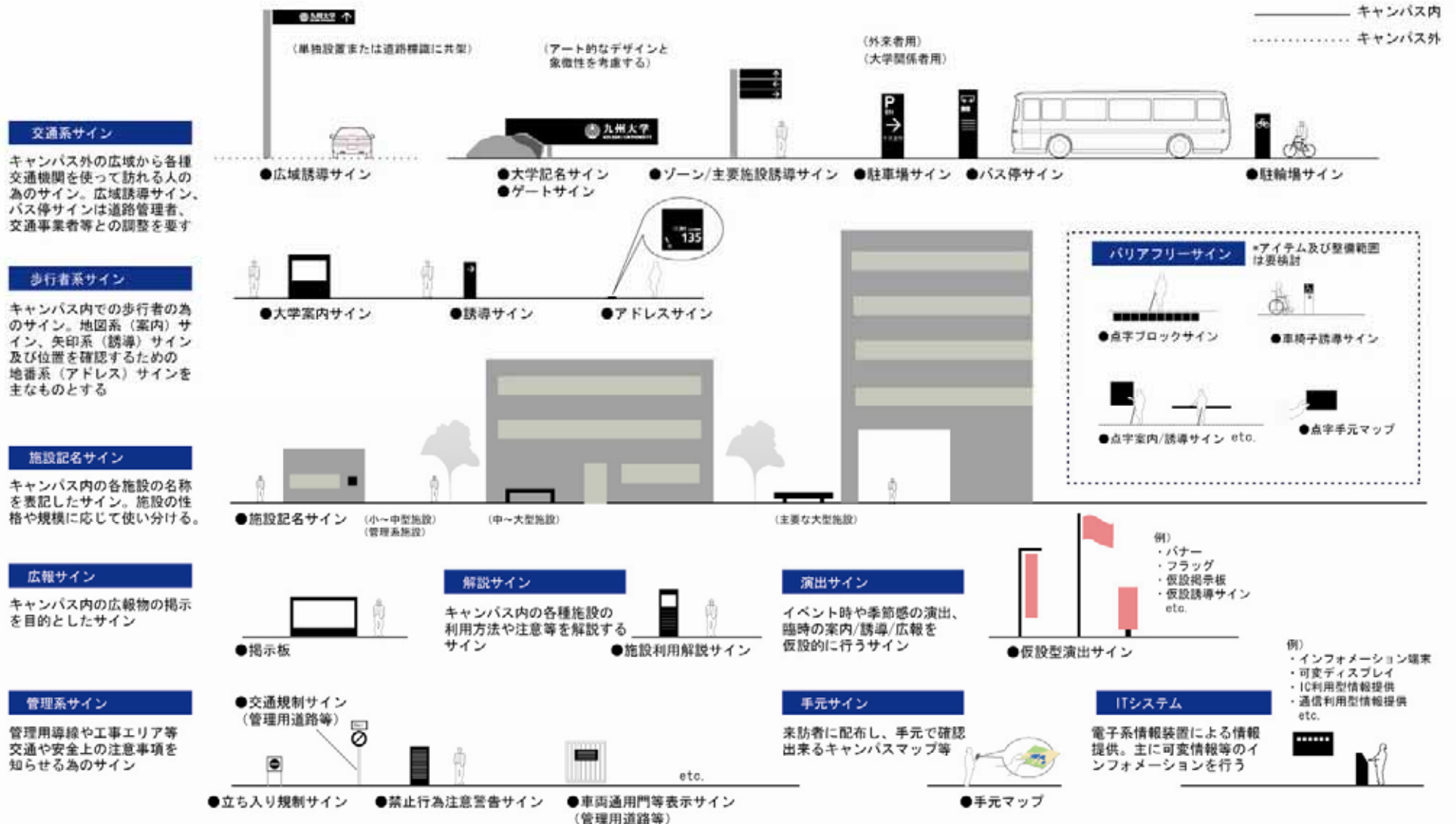
屋外サイン

広域から最終目的地までの屋外サインの案内/誘導の基本フローと主要なサインアイテムの関係を以下の図に示す。

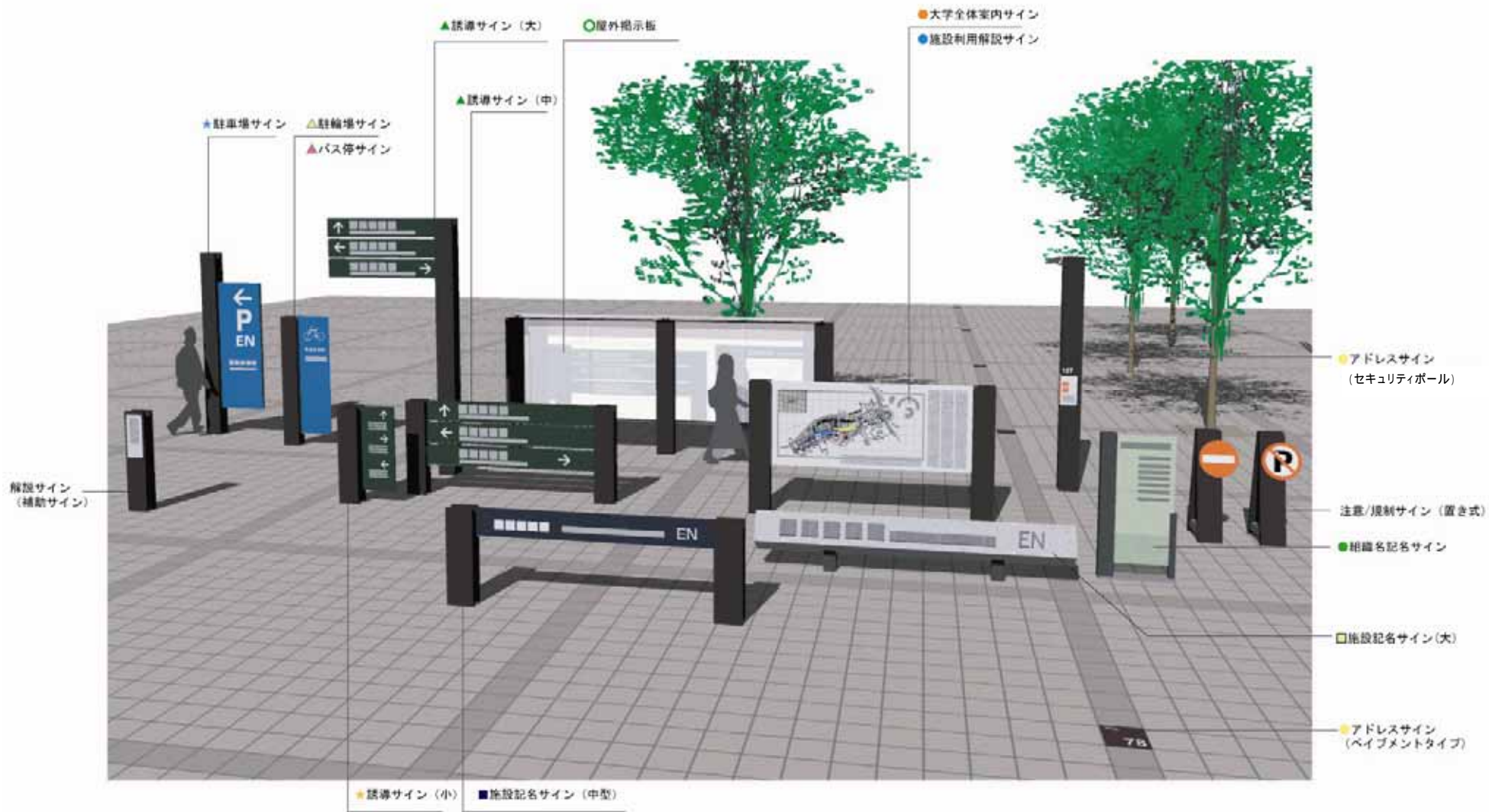


サインアイテムの整理

新キャンパスに必要なサインアイテムを機能別に以下の表に分類する。



屋外サインのデザイン



仮設演出サインのデザイン



イベントや季節に応じて簡易に仮設装置を作ることの出来るシステム。ペイメントに埋設された仮設用のソケットをベースとして、広場やモールで必要に応じた仮設装置を設置する。

● 仮設演出用ソケット (仮設型)



- 憩い系
- ・パラソル/ベンチ
 - ・テント
 - ・屋台
 - etc.

- 演出系
- ・バナー/のぼり
 - ・仮設アート
 - ・仮設照明
 - etc.

- 情報系
- ・仮設掲示板
 - ・イベントの案内/誘導
 - ・ポスターギャラリー
 - etc.

- 3 サイン

屋外サイン姿図

屋外サインの概略寸法、仕様を以下に示す。

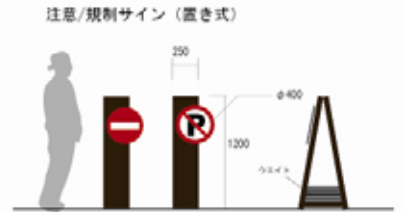
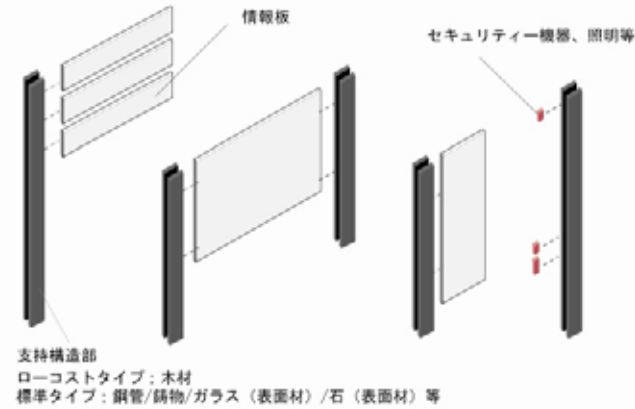
屋外サインは、新キャンパス全体が完成するまでを想定したローコストタイプと、完成後の更新を想定した標準タイプの2種類を計画する。

(施設記名サイン、組織名記名サインを除く)

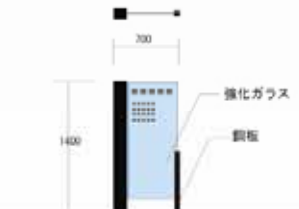
*サイン表示面に使用する色彩については11-3)色彩の考え方を元に選定する

*支持構造部の素材は場所性が表現できる様、将来的に素材にバリエーションを持たせる

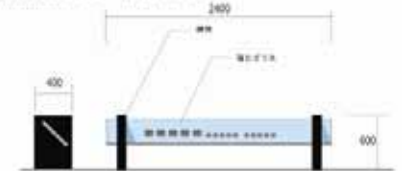
基本構造



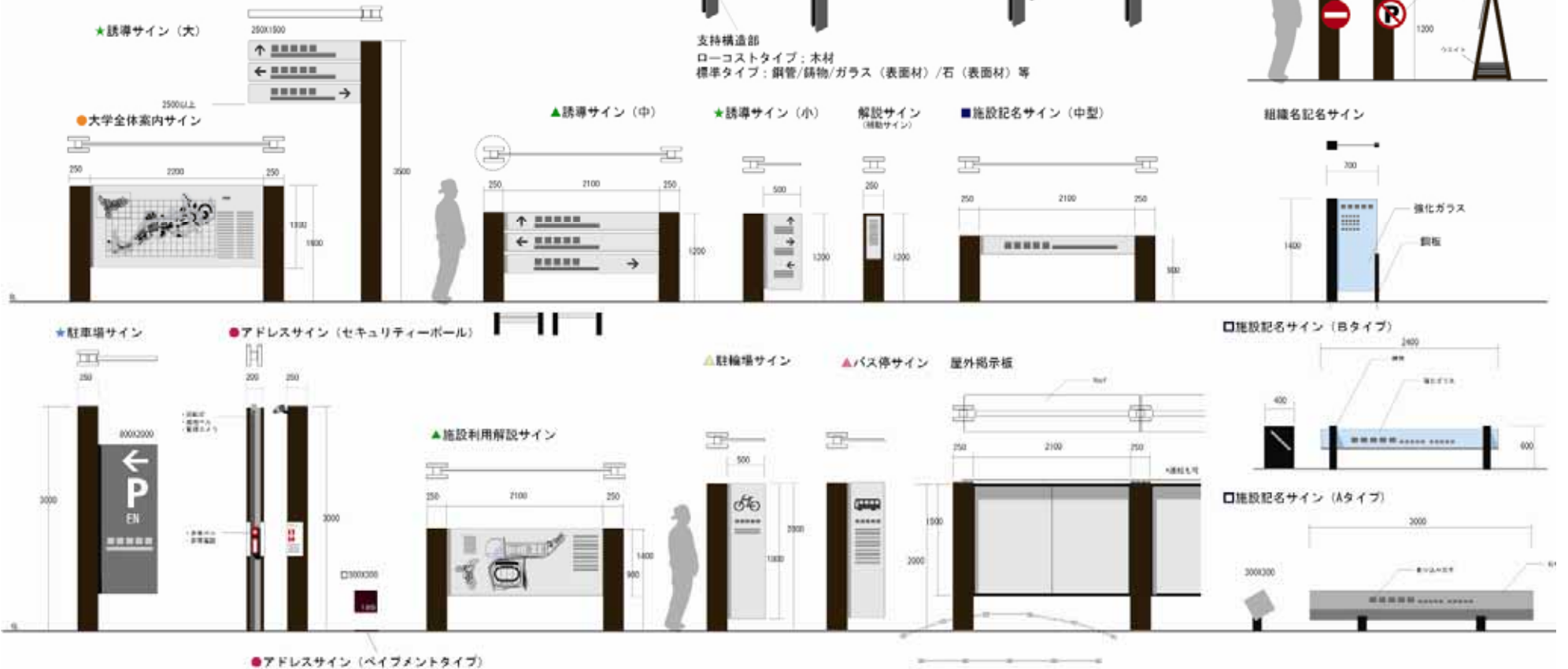
組織名記名サイン



施設記名サイン (Bタイプ)

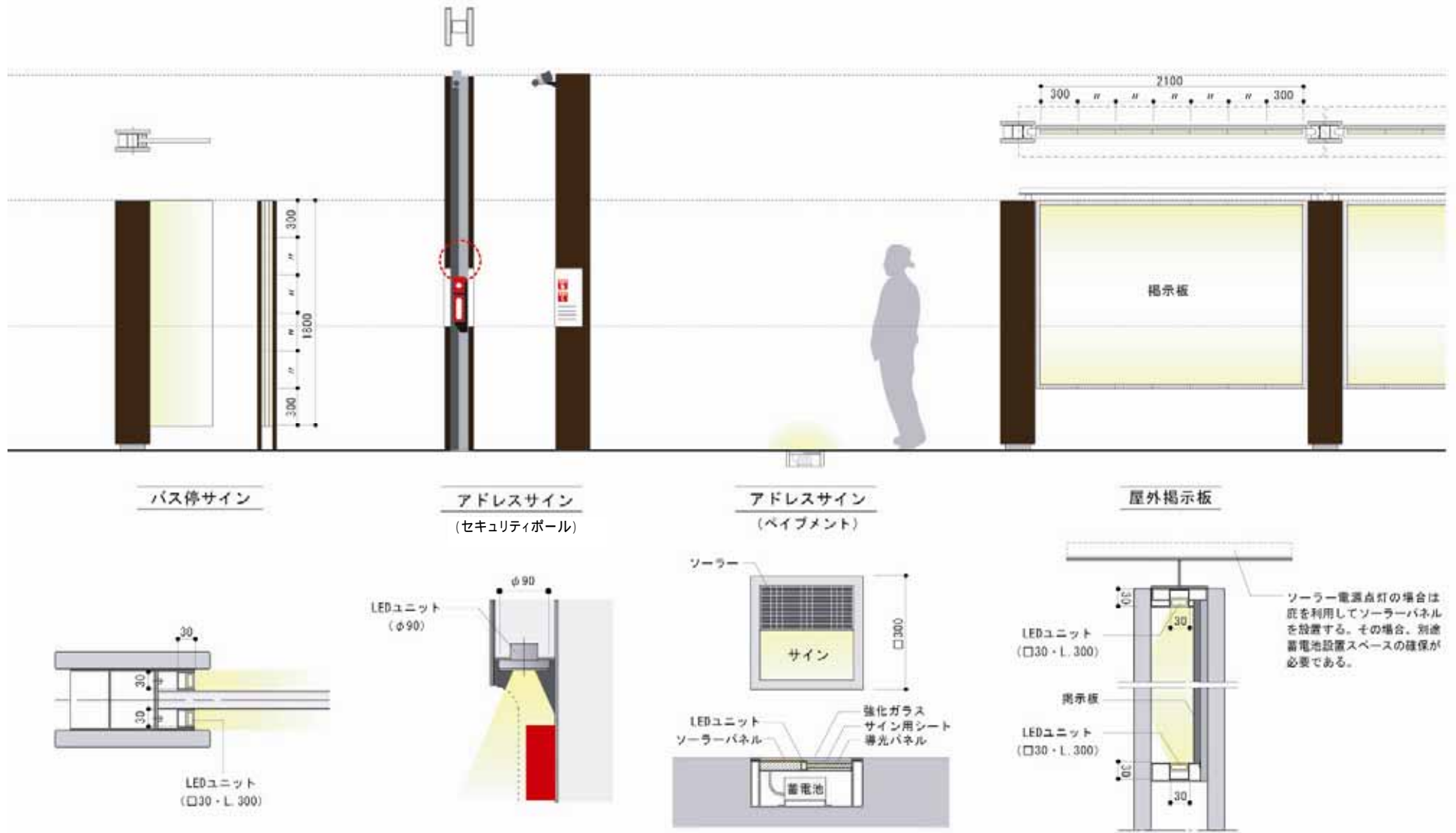


施設記名サイン (Aタイプ)



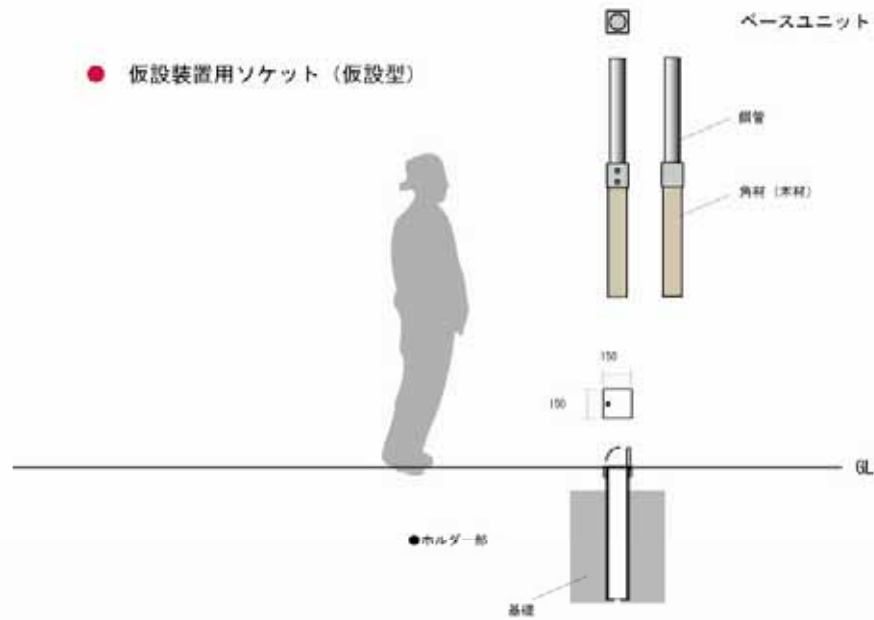
- 3 サイン

屋外サイン（複合：照明内蔵型）姿図

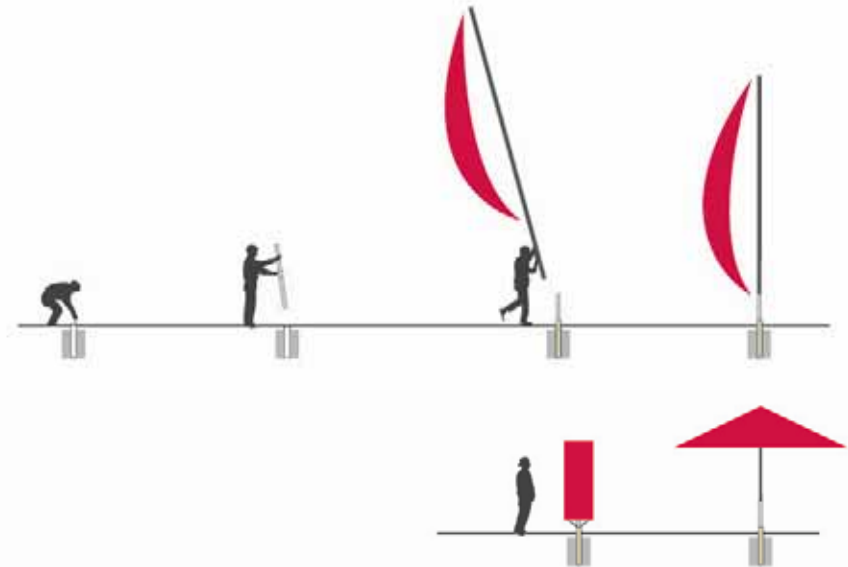


仮設演出サイン姿図

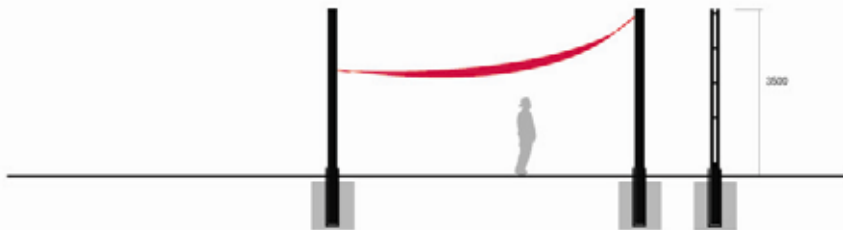
● 仮設装置用ソケット (仮設型)



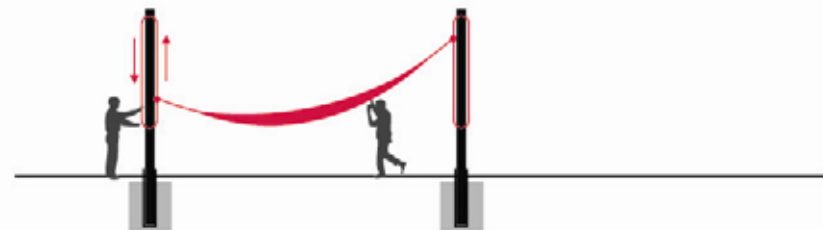
1. フタを開ける
2. ベースユニットをセットする
3. 演出装置を設置する。
4. 完成



● 仮設装置用ソケット (常設型)



ロープなどで各種演出装置を懸架する


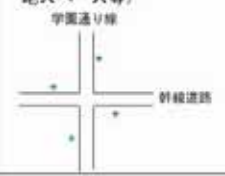


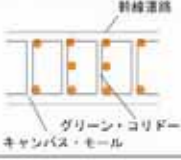












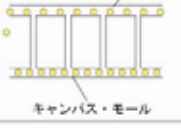






- 3 サイン

情報内容と配置の基準

サイン対象施設の項に対応する









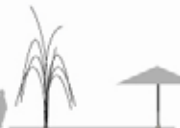





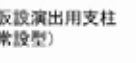


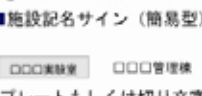







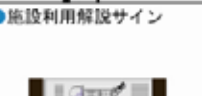





★電源設備が必要なサイン

サインアイテム	配置の考え方	掲載情報	対象施設	サインアイテム	配置の考え方	掲載情報	対象施設
★誘導サイン (大) 	<ul style="list-style-type: none"> ●幹線道路と学園通り線の交差点周辺 (左車線側歩道上の緑地スペース等) 	<ul style="list-style-type: none"> ●交差点部を中心に基本的に北方面、西方面、東方面の3方向のゾーンや主要施設を誘導 	各ゾーン または主要施設 	★大学全体案内サイン ★ 	<ul style="list-style-type: none"> ●幹線道路とグリーン・コリドールの交差点部 ●幹線道路とキャンパス・モールの中間部 (グリーン・コリドー上) ●グリーン・コリドーとキャンパス・モールの交差点部 	<ol style="list-style-type: none"> 1. キャンパス全体の施設配置図 (キーマップ) 2. キャンパス中心部 (イーストゾーン、センターゾーン、理系ゾーン、工学ゾーン、農学ゾーン) の施設配置図及び主要施設の棟名及び記号 3. 上記記号に対応した施設名、学部、学科名等 その他 ●エリアメッシュ ●駐車場、駐輪場、バス停、案内所機能のある場所等共同利用施設のピクトグラム ●周辺の方面誘導 ●方位 ●現在位置 ●スケールバー	
▲誘導サイン (中) 	<ul style="list-style-type: none"> ●幹線道路とグリーン・コリドールの交差点部 	<ul style="list-style-type: none"> ●各ゾーン及び主要施設 		★誘導サイン (小) 	<ul style="list-style-type: none"> ●歩行者動線の主要分岐点 	<ul style="list-style-type: none"> ●分岐先の主要施設 	設置場所に応じて決定
★駐車場サイン 	<ul style="list-style-type: none"> ●駐車場の出入口周辺 (幹線道路歩道部緑地帯等) 	<ul style="list-style-type: none"> ●駐車場のピクトグラム及び矢印 ●大学関係者用、外来者用の区別を文字で表記 *駐輪場が併設されている場合は自転車のピクトグラムと矢印を併記する。		●アドレスサイン (ペイジメント型) 	<ul style="list-style-type: none"> ●幹線道路では30mを基準として等ピッチでペイジメントに配置 (ポール灯の位置と運動させる) ●キャンパス・モールでは20mを基準として等ピッチでペイジメントに配置 ●このうち、夜間の誘導灯として機能させる照明内蔵型のもを等ピッチで配置 (ピッチ間隔については空間特性に応じて決めるものとする。) 	<ul style="list-style-type: none"> ●通り名 ●地番 ●エリア番号 ●方位 	—
▲バス停サイン ★ 	<ul style="list-style-type: none"> ●バスセンター内バス停 ●幹線道路上の各バス停 	<ul style="list-style-type: none"> ●バス停のピクトグラム ●バス会社名及び路線名等 ●路線図 ●時刻表 等 	—	●アドレスサイン (セキュリティボール) ★ 	<ul style="list-style-type: none"> ●セキュリティ拠点では柱型を設置 	<ul style="list-style-type: none"> *セキュリティ型の場合は、非常ボタンや非常電話のピクトグラムを併記 	—
▲駐輪場サイン 	<ul style="list-style-type: none"> ●駐輪場入り口周辺 	<ul style="list-style-type: none"> ●駐輪場のピクトグラム ●大学関係者用、外来者用の区別があれば文字で表記 		補助サイン 	<ul style="list-style-type: none"> ●遺跡、記念碑、施設の歴史等の解説が必要な場合に必要に応じて設置 ●誘導サインとしてネイチャー・トレイル上の分岐点等に必要に応じて設置 	<ul style="list-style-type: none"> ●記念碑や施設の歴史等の解説。その他の説明や注意書き等が必要な場合、補助的なサインとして使用 	設置場所に応じて決定

- 3 サイン

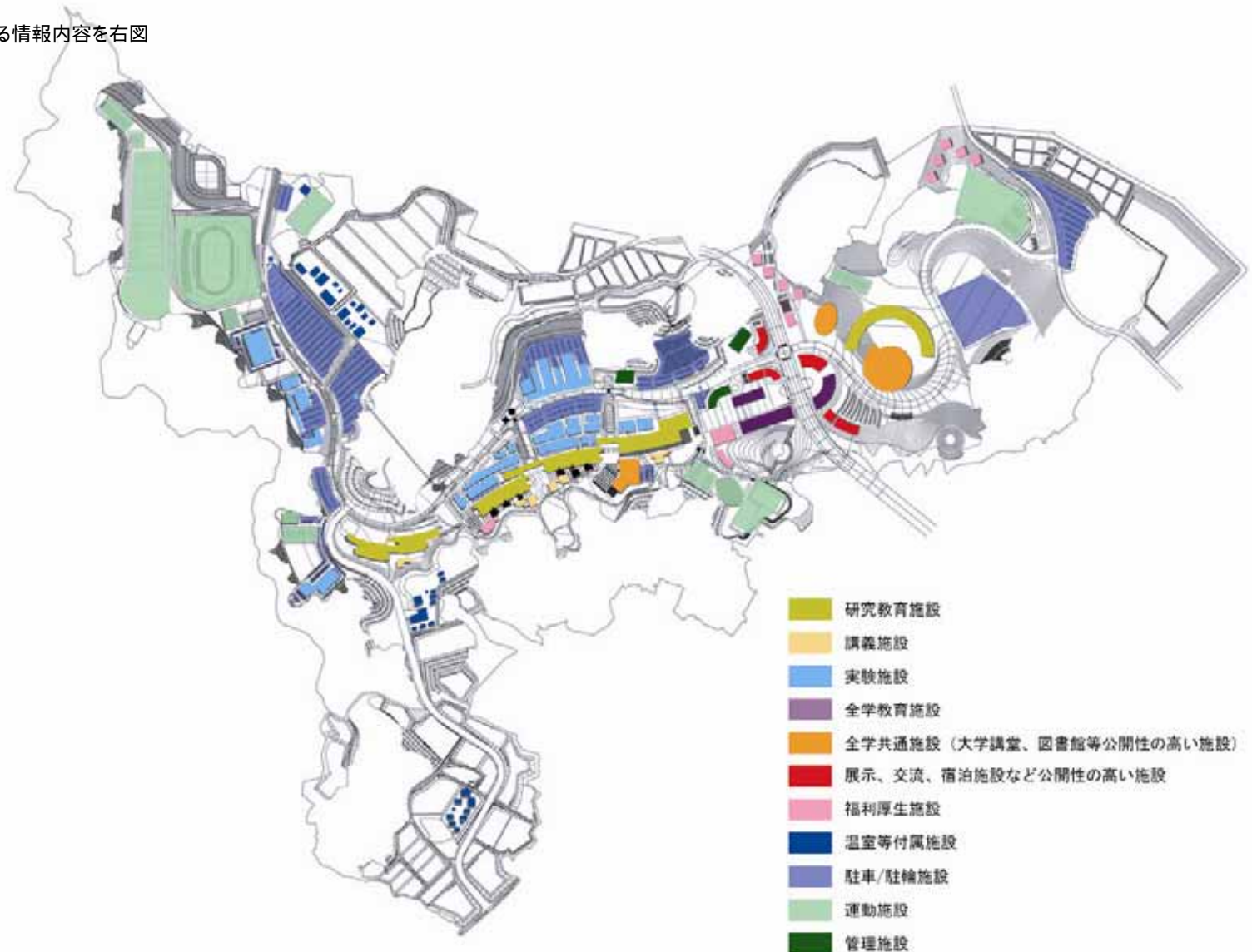
サイン対象施設の項に対応する

★電源設備が必要なサイン

サインアイテム	配置の考え方	掲載情報	対象施設	サインアイテム	配置の考え方	演出例			
施設記名サイン	施設記名サイン(大) Aタイプ  Bタイプ 	各部署のエントランス周辺 (原則として1部署につき1台)	●各部署の組織名称 (学部、学府名等)	  	仮設演出装置	●仮設演出用ソケット (仮設型)  	●グリーン・コリドー上 (幹線道路からキャンパス・モールの間に等ピッチで配置) ●センターゾーン(全学教育施設広場、キャンパス・モール上に等ピッチで配置)	 	懸い系 ・パラソル/ベンチ ・テント ・屋台 etc. 情報系 ・仮設掲示板 (合格発表等) ・イベントの案内/誘導 ・ポスターギャラリー etc. 演出系 ・バナー/のぼり ・仮設アート ・仮設照明 etc.
	施設記名サイン(中型) 	●その他の主要な施設(中規模)のエントランス周辺	●施設名称等	   		●仮設演出用支柱 (常設型) 	●研究教育棟西の広場 (グリッド状に配置) ●理系図書館前広場(列柱状に配置)	 	・バナー/のぼり ・仮設アート ・仮設照明 etc.
	施設記名サイン(簡易型) 	●小～中型施設、管理系施設のエントランス部壁面など ●実験棟の個々の実験室名など	●施設名称等 ●実験棟などで、棟屋の総称がある場合は壁面に塗装などで表記する。 ●各実験室の出入り口周辺や庇などに色彩を施し、顕在化を検討する。	    		●ゲートサイン ●大学記名サイン	●幹線道路交差点部 ●新キャンパス敷地境界付近 ●カメラポイントとなる場所	●九州大学のロゴマーク等	
	組織名記名サイン 	主要な施設のメインエントランス内	●その棟屋に入っている学部、学府・研究院名の一覧			ITシステム 例) ・インフォメーション端末 ・可変ディスプレイ ・IC利用型情報システム ・通信利用型情報システム etc.	●アライバルポイントや屋外掲示サイン等の情報拠点を中心に配置	●頻繁に変わる情報や検索機能、モバイル機能等が必要な情報	
施設利用解説サイン 	運動施設などのエントランス周辺	●グラウンドやコート及び周辺施設等の配置図 ●使用上のルールや注意など		●注意/規制サイン(置き式) 	●管理上車の進入や駐車、制限速度などの規制が必要な場所 ●工事中の臨時的制限が必要な場所	●進入禁止 ●駐車禁止 ●制限速度 ●その他注意喚起等			
屋外掲示板 ★ 	各ゾーン及び施設群周辺に配置(連続させて設置)	●一定の掲示ルールのもとに運営 ＊詳細な設置台数要検討	—	—	—	—			
広報サイン 	—	—	—	—	—	—			
管理系サイン 注意/規制サイン(置き式) 	—	—	—	—	—	—			

サイン対象施設

各種案内、誘導、記名サインに掲載する情報内容を右図に整理する。
の表内対象施設の項に対応する



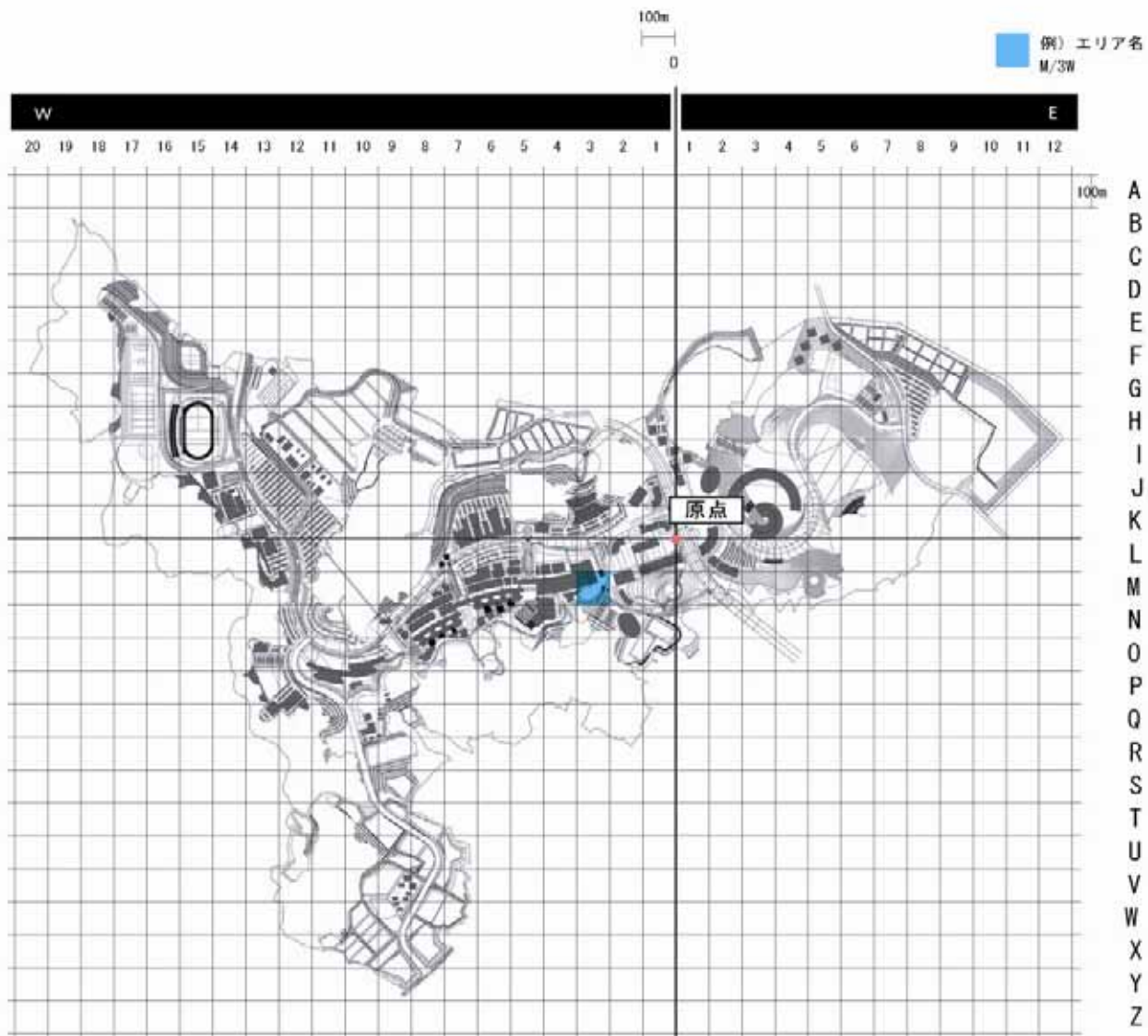
- 3 サイン

エリアメッシュとアドレスポイント

エリアメッシュ及びアドレスポイントは右図を基準とする。

原点をアカデミックプラザサークル中心部とする
エリアメッシュは原点を起点に100mメッシュとする
キャンパス・モールのアドレスポイントは原点を起点に
20mピッチとする

(幹線道路は交差点を起点に30mピッチ)
全てのサインには該当するエリア名を記入する。





配置計画

主要なサインの配置を下图に示す。



- 施設記名サイン (簡易型)
- 大学記名サイン
- ☀ ゲートサイン (象徴性の高いもの)
- 実験棟
- 実習棟
- *実験棟では個々の実験室に設置
- (*デザインや配置については今後の検討とする。)

- 施設記名サイン (大)
- 施設記名サイン (中型)
- 組織名記名サイン
- 施設利用解説サイン
- 屋外掲示板
- 注意/規制サイン (置き式)
- 仮設演出用ソケット
- 仮設演出用支柱



名称表記の考え方

サイン上に表記する組織名称は、識別性や遠方からの判読性を考慮し、英文2文字による略称の併記を原則とする。(略称が同一となる場合は3文字も可とする)

名称(和文)	略称(和文)	略称(英文) 2文字(原則)	名称(英文)
事務局		AB	Administration Bureau
* 人文科学研究院	人文	HU	Faculty of Humanities
* 比較社会文化研究院	比文	SC	Faculty of Social and Cultural Studies
* 人間環境学研究院	人環	HE	Faculty of Human-Environment Studies
* 法学研究院	法学	LA	Faculty of Law
* 経済学研究院	経済	EC	Faculty of Economics
* 言語文化研究院	言文	LC	Faculty of Languages and Cultures
* 理学研究院	理学	SCI	Faculty of Science
* 数理学研究院	数理	MA	Faculty of Mathematics
医学研究院			
歯学研究院			
薬学研究院			
* 工学研究院	工学	EN	Faculty of Engineering
* システム情報科学研究院	シ情	IE	Faculty of Information Science and Electrical Engineering
総合理工学研究院			
* 農学研究院	農学	AG	Faculty of Agriculture

* 総合移転対象組織

使用書体

サイン上に使用する書体は右に示す九州大学指定のものを基本とする。

優先度の高い書体

施設名称等は和文、英文の2カ国語併記を原則とする。

特に公開性の高い施設名称等は
4カ国語(和文、英文、中国語、韓国語)併記とする。
利用者が限定される施設においては和文のみとする。

和文	新ゴM (モリサワ)
	HG明朝 / HGゴシック
	平成明朝 / 平成ゴシック
	MS明朝 / MSゴシック
英文	Trebuchet
	Myriad
	Times
中国語 (簡体)	华文黑体
韓国語	Apple Gothic

地域に開かれた大学(新ゴM)

地域に開かれた大学 (HG明朝) / 地域に開かれた大学 (HGゴシック)
 地域に開かれた大学 (平成明朝) / 地域に開かれた大学 (平成ゴシック)
 地域に開かれた大学 (MS明朝) / 地域に開かれた大学 (MSゴシック)

ABCDEFGH abcdefg 1234/,. (Trebuchet R)
 ABCDEFG abcdefg 1234/,. (Myriad R)
 ABCDEFG abcdefg 1234/,. (Times Roman)

休憩处

휴제소

使用ピクトグラム例



交通エコロジー・モビリティ財団の「標準案内用図記号」を基本とする。

(上記図記号に制定されていないものや大学オリジナルのピクトグラムを使用する場合はデザインの統一感を考慮する。)

使用ピクトグラム

サイン上に使用するピクトグラムは右に示すものを基本とする。

レイアウトデザイン

和文と英文の文字のレイアウト例を右に示す。



- レイアウトのバランスは扱う文字の大きさにより微調整が必要
- 文字に長体をかける場合は80%より小さくならないようにする。

工学研究院 (80%長体)

表示部のデザイン

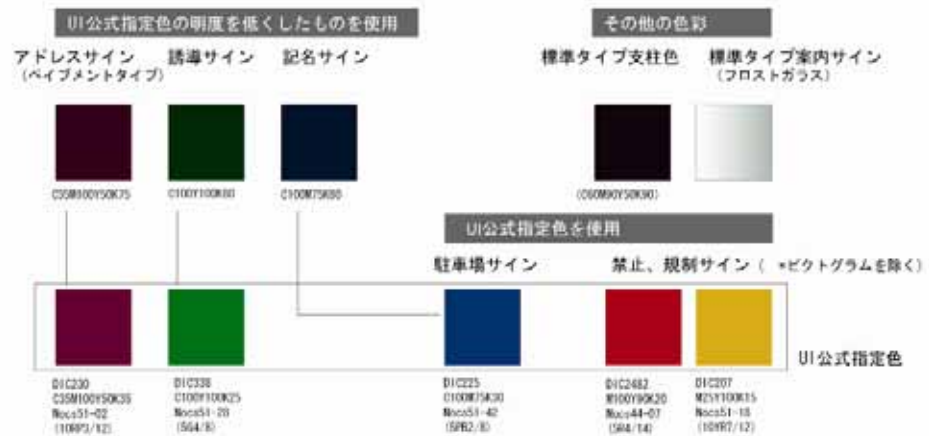
表示部のデザイン例を右に示す。



色彩の考え方

サインに使用する表示部(ベース)の色彩はその目的(機能)によって区別する。案内、誘導、記名など一般的なサインについてはUI公式指定色に定められた色彩イメージとの連携を計ったものとし、禁止、規制サインなどについても一般的に認知度の高い注意喚起色(UI公式指定色内の赤色、黄色)を使用する。

*最終的に採用する色彩については実際に使用する素材の塗装サンプルなどを作成の上、最終確認と調整を行う。



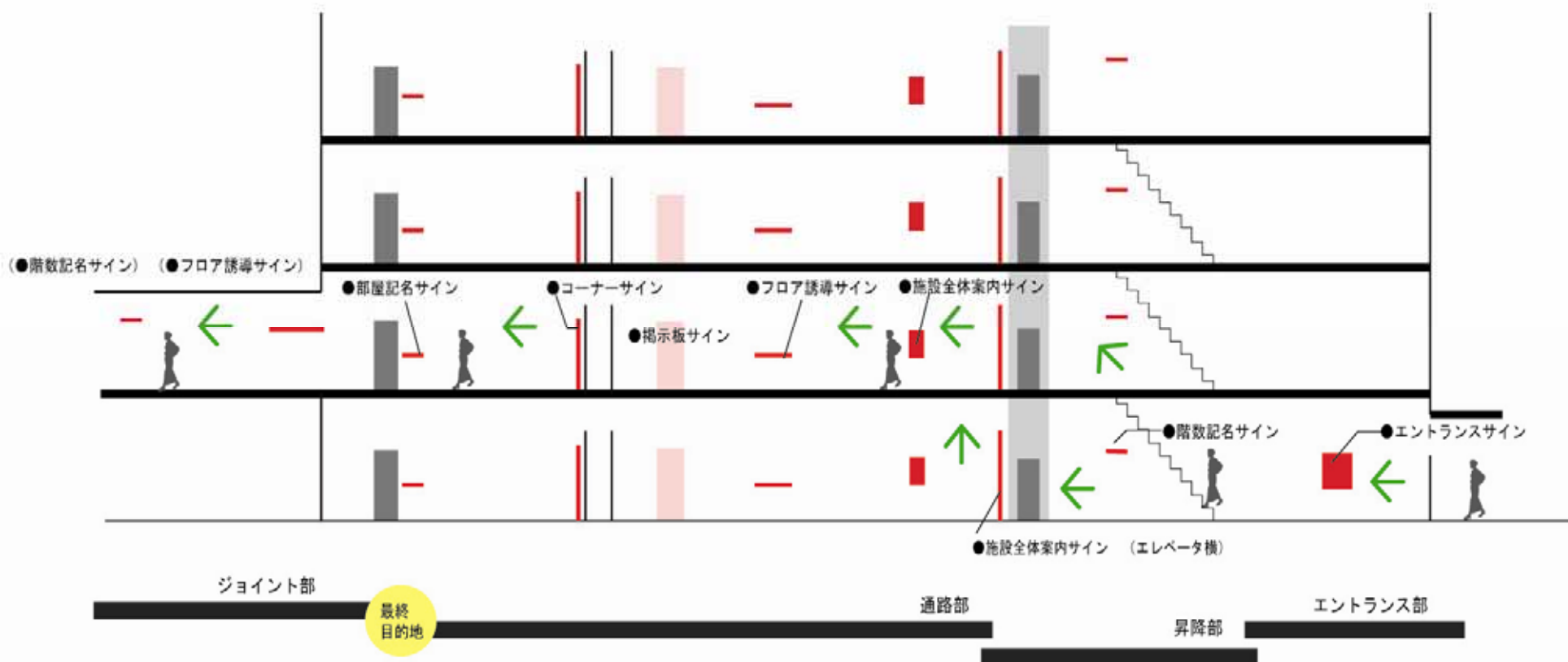
4) 施設内サイン

案内/誘導の基本フロー

施設のエントランス部から最終目的地までの案内/誘導の基本フローと主要なサインアイテムの関係を示す。

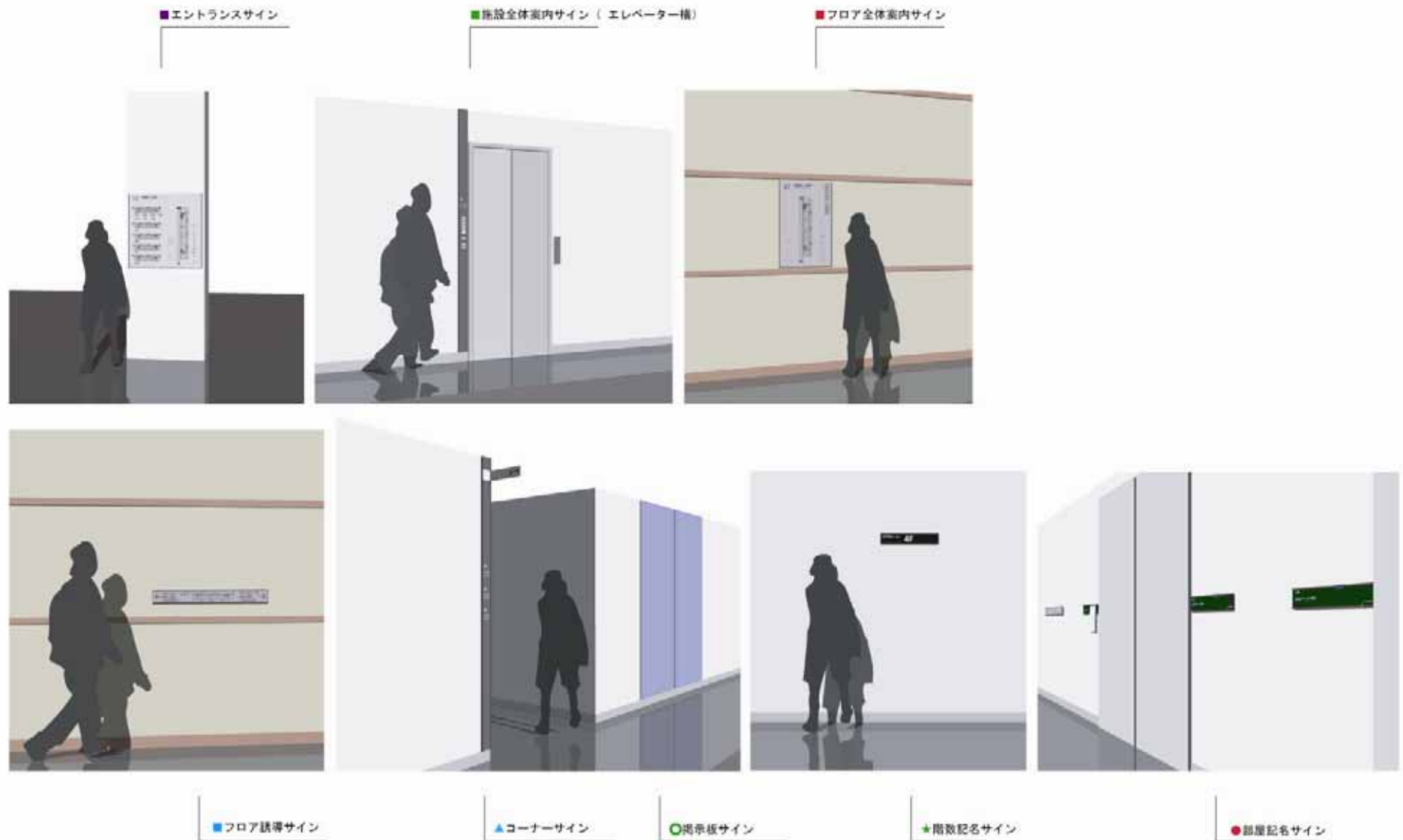
施設内サイン

— 主要なサインアイテム



- 3 サイン

サインデザイン

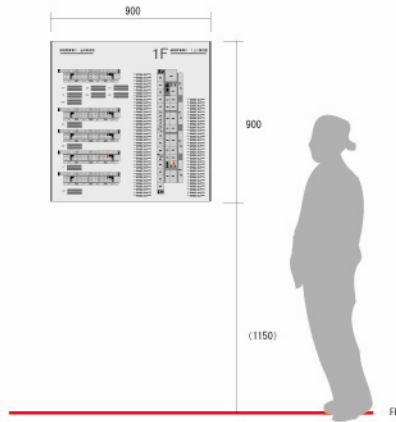


Ⅲ-3 サイン

③施設内サイン姿図

*今後導入される実験的な試み(IT装置等)とのデザインの一部感に配慮する。

■ エントランスサイン

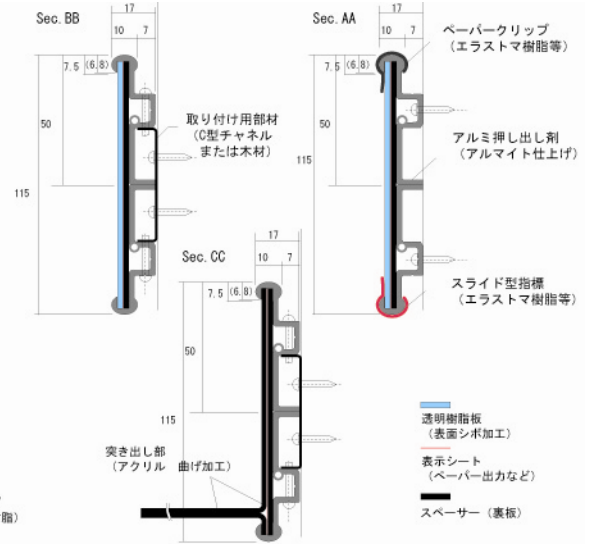
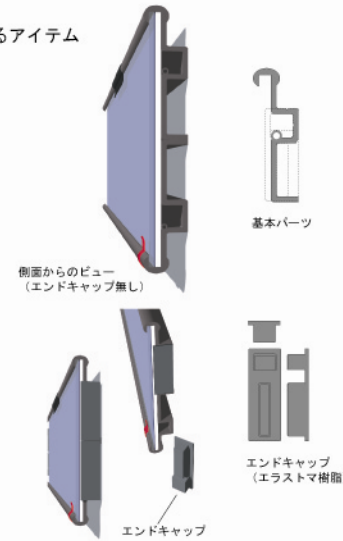


- 施設全体のエントランスのみに設置するアイテム
- 各フロアに設置するアイテム
- ▶ 案内/誘導のフロー

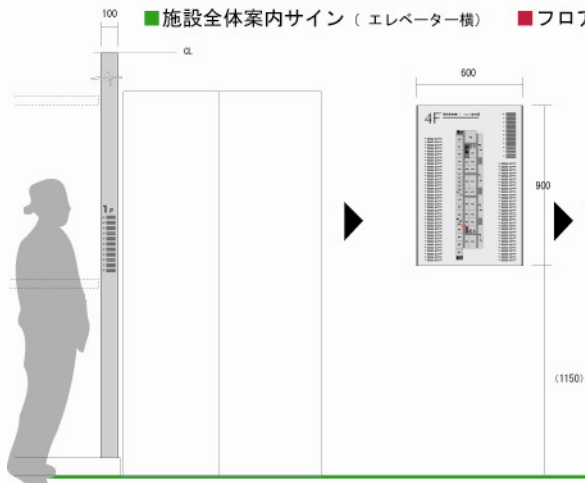
★階数記名サイン



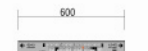
構造図



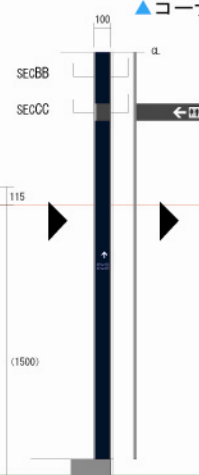
- 施設全体案内サイン (エレベーター横)
- フロア全体案内サイン



■ フロア誘導サイン

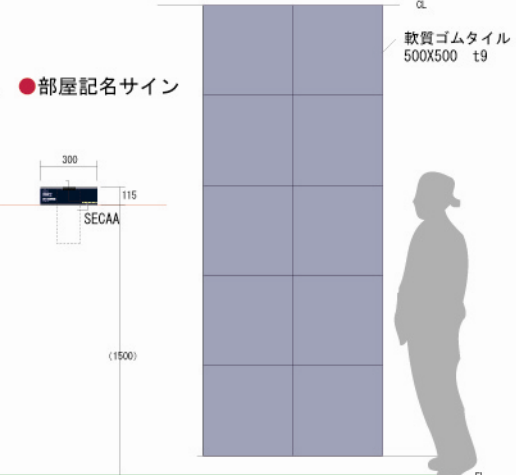


▲コーナーサイン

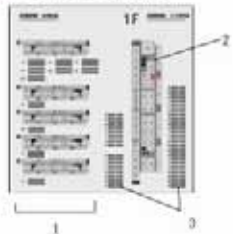

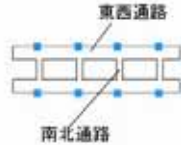




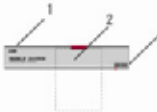

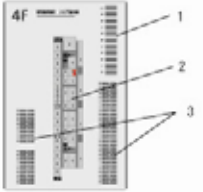

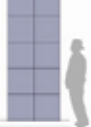


○ 掲示板 (1台分 W1000H2500)

● 部屋記名サイン



情報内容と配置の基準（研究教育棟 を例として）

サインアイテム	配置の考え方	掲載情報	サインアイテム	配置の考え方	掲載情報
<p>■ エントランスサイン</p> 	<p>建物のメインのエントランス部 (研究教育棟・の場合は、1Fと2F)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 全フロアの平面プラン <ul style="list-style-type: none"> ●階数名 ●部屋割り ●各フロア毎の工学群、工学科名及び主な共同利用施設名称等 ●各フロアの施設の性格を色分けによりゾーンで区別する。 ●階段/エレベータ/トイレはビクトグラム表記 設置フロアの平面プラン <ul style="list-style-type: none"> ●階数名 ●部屋割り ●各フロアの施設の性格を色分けによりゾーンで区別する。 ●階段/エレベータ/トイレはビクトグラム表記 ●部屋番号または共用施設名称 ●現在位置 設置フロアの研究室の情報 <ul style="list-style-type: none"> ●部屋番号 ●組織名 ●研究室名 	<p>■ フロア誘導サイン</p> 	<p>東西通路壁面 (南北通路との交差点正面)</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 部屋番号/共用施設名称 <ul style="list-style-type: none"> ●部屋番号(矢印により誘導) ●トイレのビクトグラム ●隣接する棟屋名称など 設置フロアの平面プラン <ul style="list-style-type: none"> ●階数名 ●部屋割り ●各フロアの施設の性格を色分けによりゾーンで区別する。 ●階段/エレベータ/トイレはビクトグラム表記 ●部屋番号または共用施設名称 ●現在位置
<p>★階数記名サイン</p> 	<p>階段部(各フロアの壁面) 施設間通路など(通路壁面)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●階数名 ●階数名(同一通路上で階数に変化する場合に使用) 	<p>▲コーナーサイン</p> 	<p>東西通路壁面 (南北通路との交差点コーナー)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●部屋番号(矢印により誘導) ●トイレのビクトグラム(突き出し型)
<p>■ 施設屋全体案内サイン (エレベーター横)</p> 	<p>エレベーター横(原則左側)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●各フロア毎の工学群、工学科名及び主な共用施設名称 	<p>●部屋記名サイン</p> 	<p>各部屋の扉横</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 研究室の情報 <ul style="list-style-type: none"> ●部屋番号 ●組織名 ●研究室名 メッセージスペース <ul style="list-style-type: none"> ●メモなどの掲示スペース(A4サイズ相当) 在室表示 <ul style="list-style-type: none"> ●可動インジケータ式
<p>■ フロア全体案内サイン</p> 	<p>エレベーターホール (エレベーターの扉正面)</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 各フロアの組織/施設名称など <ul style="list-style-type: none"> ●各フロア毎の工学群、工学科名及び主な共用施設名称 設置フロアの平面プラン <ul style="list-style-type: none"> ●階数名 ●部屋割り ●各フロアの施設の性格を色分けによりゾーンで区別する。 ●階段/エレベータ/トイレはビクトグラム表記 ●部屋番号または共用施設名称 ●現在位置 設置フロアの研究室の情報 <ul style="list-style-type: none"> ●部屋番号 ●組織名 ●研究室名 	<p>○掲示板</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●エレベーター周辺 ●各ブロック(全4ブロック) ●休息施設周辺 	<ul style="list-style-type: none"> ●一定の掲示基準のもとに運営 ●詳細な設置台数は要検討
			<p>注意・禁止サイン</p>	<p>実験施設等の危険物への注意喚起や施設の使用上の注意が必要な場所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ビクトグラムや注意書きで対応
			<p>ITシステム 例) ・インフォメーション端末 ・可変ディスプレイ ・IC利用型情報システム ・通信利用型情報システム etc.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●エントランス等、情報拠点到設置 	<ul style="list-style-type: none"> ●頻繁に変わる情報や検索機能、モバイル機能等が必要な情報

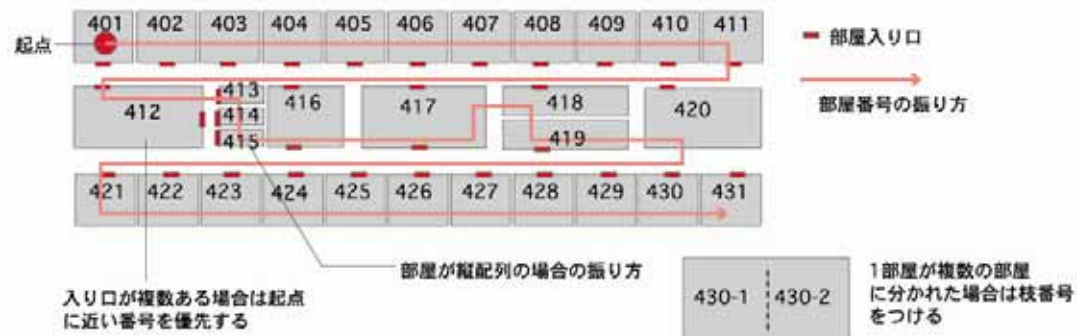


部屋番号の考え方

施設内の部屋番号及びその振り方の基準を右に示す。

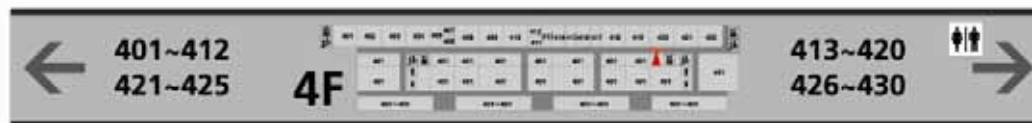


- 例) 235 2階の35番目の部屋
 B114 地下1階の14番目の部屋
 1127 11階の27番目の部屋



表示デザイン

案内図のデザイン例を右に示す。
 (研究教育棟 を例として)



5) 屋外広告物

新キャンパスの風格ある景観を形成・維持するため、設置が予想される屋外広告物等について、その規制基準を定める。

規制基準は、「キャンパス内部」及び「学園通線接道部」について、それぞれのエリアの土地利用計画等を踏まえ、各エリア毎に基準を設定する。

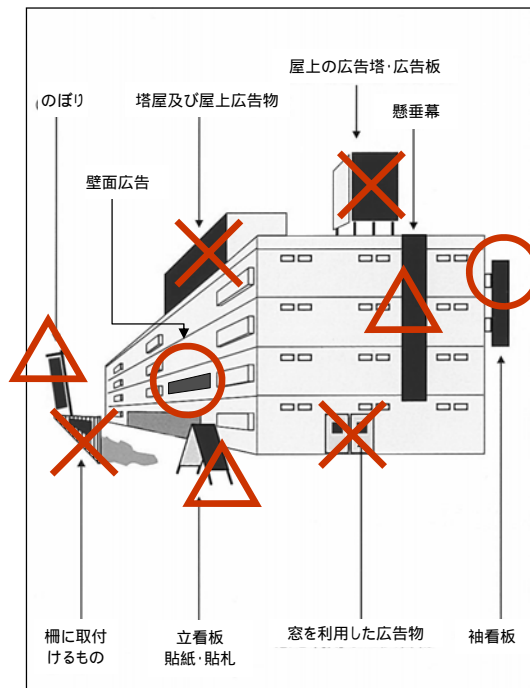
新キャンパスにおいて屋外広告物等を設置する場合は、すべて協議の対象とする。承認においては、パブリックスペースWG会議の承認を得るものとする。

違反があった場合には、設置者の責任において速やかに撤去する。

九大祭、地域共同イベント、学会等開催時における対応については、別途協議により、規制内容の検討を行う。

【表現方法等】

別途定める規制基準を厳守するとともに、建築物本体と調和した色彩とすること。



主な広告物規制基準のイメージ

- : 基準に基づき設置可能なもの
- △ : 承認制のもの(別途基準による)
- × : 禁止

Ⅲ-3 サイン

◆屋外広告物に関する規制内容

屋外広告物の種類	規制基準等	
	キャンパス内	学園通線接道部
屋上広告	禁止(屋上の直書きについても禁止)。	禁止(屋上の直書きについても禁止)。
壁面広告	<ul style="list-style-type: none"> ● 地上高6mを超える範囲には、壁面1面につき総量5㎡以内とする。 ● 地上高6m以下の範囲には、壁面1面につき総量10㎡以内かつ、地上高6m以下の壁面積の1/15以下とする。 ● 建築物と一体化させ、壁面からの突き出し幅は、30cm以内とする。 ● 窓面広告は禁止。 ● 彩度10以上の色を使用する場合には、彩度10以上の色を使用する1広告物の表示面積に2を乗じた数値をその表示面積とする。 ● 自家広告に限る。 ● 商品名表示は禁止。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地上高6mを超える範囲には、壁面1面につき総量10㎡以内とする。 ● 地上高6m以下の範囲には、壁面1面につき総量20㎡以内かつ、地上高6m以下の壁面積の1/10以下とする。 ● 建築物と一体化させ、壁面からの突き出し幅は、30cm以内とする。 ● 窓面広告は禁止。 ● 彩度10以上の色を使用する場合には、彩度10以上の色を使用する1広告物の表示面積に2を乗じた数値をその表示面積とする。 ● 自家広告に限る。 ● 商品名表示は禁止。
懸垂幕	承認制とする。 <ul style="list-style-type: none"> ● 壁面1面につき総量30㎡以内かつ、壁面面積の1/10以下とする。 ● 建築物本体の高さを越えないものとする。 	承認制とする。 <ul style="list-style-type: none"> ● 壁面1面につき総量30㎡以内かつ、壁面面積の1/10以下とする。 ● 建築物本体の高さを越えないものとする。
テント広告(常設)	禁止。	禁止。
袖看板広告	禁止。	<ul style="list-style-type: none"> ● 1基につき、1m×1m×1m以内の範囲とする。 ● 取付箇所は、地上高2.5m以上、6m以下に限る。 ● 各看板の間隔は、5m以上とする。 ● 彩度10以上の色を使用する場合は、表示可能面積を1/2以内に減じる。但し、駐車場誘導表示の出庫警告の赤色灯は、この限りではない。 ● 自家広告に限る。
軒下看板広告	禁止。	<ul style="list-style-type: none"> ● 1基につき、1m×1m×1m以内の範囲とする。 ● 取付箇所は、地上高2.0m以上、軒下に限る。 ● 各看板の間隔は、5m以上とする。 ● 建築物本体からはみ出さないものとする。 ● 自家広告に限る。

※保全緑地に対する光の洩れに十分配慮する。
 ※実験目的の広告については規制対象外とする。

Ⅲ-3 サイン

◆屋外広告物に関する規制内容

屋外広告物の種類	規制基準等	
	キャンパス内	学園通線接道部
シャッター広告	<p>禁止。但し、絵柄を表示する場合で下記の基準を満たす場合のみ承認制とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地上高1.2m以上、1.7m以下の範囲に限る。 ● 蛍光色、彩度10以上の色の使用は禁止。 ● 自家広告に限る。 	<p>禁止。但し、絵柄を表示する場合で下記の基準を満たす場合のみ承認制とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地上高1.2m以上、1.7m以下の範囲に限る。 ● 蛍光色、彩度10以上の色の使用は禁止。 ● 自家広告に限る。
ショーウィンドー広告	<p>承認制とする。ガラス面に企業名、商品名、その他文字マーク、絵柄を直接表示する場合とし、下記の基準を適用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地上高1.2m以上、1.7m以下の範囲に限る。 ● 蛍光色、彩度10以上の色を使用する場合は表示可能範囲を1/2に減じる。 ● 自家広告に限る。 	<p>承認制とする。ガラス面に企業名、商品名、その他文字マーク、絵柄を直接表示する場合とし、下記の基準を適用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地上高1.2m以上、1.7m以下の範囲に限る。 ● 蛍光色、彩度10以上の色を使用する場合は表示可能範囲を1/2に減じる。 ● 自家広告に限る。
地上広告塔 地上広告板	<ul style="list-style-type: none"> ● 広告塔(板)の全高は、6m以下とする。 ● 表示面積は、1面につき2㎡以内とする。円柱の場合は、最大円周の1/3×高さ＝2㎡以内とする。 ● 各広告塔(板)全ての表示面積の総量は、1敷地につき10㎡以内とする。但し、駐車場誘導表示等は除く。 ● 彩度10以上の色を使用する場合は、彩度10以上の色を使用する1広告物の表示面積に2を乗じた数値をその表示面積とする。但し、駐車場誘導表示の出庫警告の赤色灯は、この限りではない。 ● 広告塔(板)は歩行者の安全のため、各縁を3R(mm)以上の縁どりをする。 ● 道路にはみ出さないものとする。 ● 自家広告に限る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 広告塔(板)の全高は、6m以下とする。 ● 表示面積は、1面につき2㎡以内とする。円柱の場合は、最大円周の1/3×高さ＝2㎡以内とする。 ● 各広告塔(板)全ての表示面積の総量は、1敷地につき20㎡以内とする。但し、駐車場誘導表示等は除く。 ● 彩度10以上の色を使用する場合は、彩度10以上の色を使用する1広告物の表示面積に2を乗じた数値をその表示面積とする。但し、駐車場誘導表示の出庫警告の赤色灯は、この限りではない。 ● 広告塔(板)は歩行者の安全のため、各縁を3R(mm)以上の縁どりをする。 ● 道路にはみ出さないものとする。 ● 自家広告に限る。
床広告	禁止。	禁止。
階段広告	禁止。	禁止。
置看板広告	承認制とする。	承認制とする。
のぼり・旗広告	承認制とする。	承認制とする。
ベンチ広告	禁止。	禁止。

※保全緑地に対する光の洩れに十分配慮する。
※実験目的の広告については規制対象外とする。

- 3 サイン

屋外広告物に関する規制内容

屋外広告物の種類	規制基準等	
	キャンパス内	学園通線接道部
自動販売機広告	承認制とする。 周辺景観に配慮すること。	承認制とする。 周辺景観に配慮すること。
サービスワゴン広告	承認制とする。	承認制とする。
電柱・街灯・消火栓広告	禁止。但し、「消火栓」の表示は除く。	禁止。但し、「消火栓」の表示は除く。
樹木取付広告	禁止。	禁止。
柵取付広告	禁止。	禁止。
ポスター広告	常設の掲示施設以外では禁止。	常設の掲示施設以外では禁止。
バス停広告	承認制とする。	承認制とする。
自動車広告	承認制とする。	承認制とする。
その他	広告としての「音」は、研究教育や周辺住民に支障を来さないものとする。 広告・チラシの配布は原則禁止。但し、本学の研究教育に関わるものは承認制とする。	広告としての「音」は、研究教育や周辺住民に支障を来さないものとする。 広告・チラシの配布は原則禁止。但し、本学の研究教育に関わるものは承認制とする。

実験目的の広告については規制対象外とする。